

山本商運株式会社

2023年(令和5年)5月度 安全運転講習会



2023年(令和5年)5月13日(土)15時～
唐崎公民館

作成: 保険代理店 株式会社 LIFE STUDIO

本日の内容

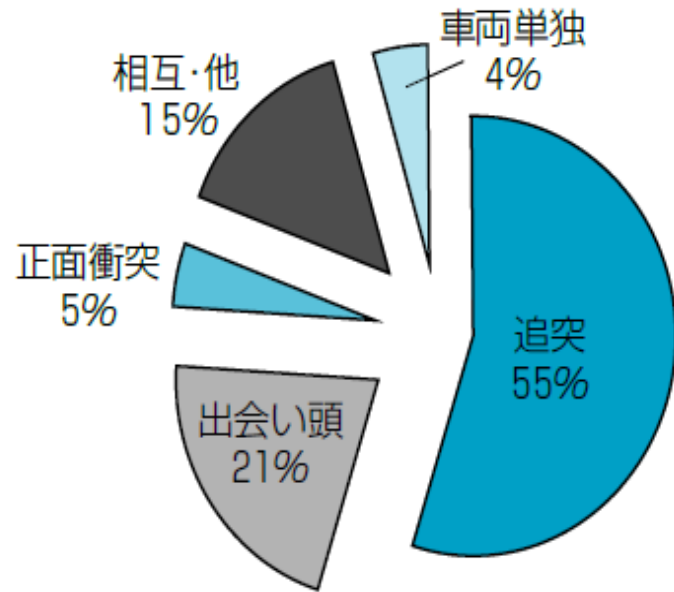
- 追突事故はどうして起こるのか？
- 追突事故の特徴
認知 → 予測 → 判断 → 操作
- 安全運転のふりかえり(原点に戻れ) DVD約20分
- 熱中症予防について
- 保険会社(日新火災)からのお願い

追突事故はどうして起きるのか

その時の運転者のエラーによって起こる

追突事故はどうして起きるのか

自動車乗車中の軽症者数を事故類型別に分類



事故類型別の軽傷者数

追突事故・・・全体の55%

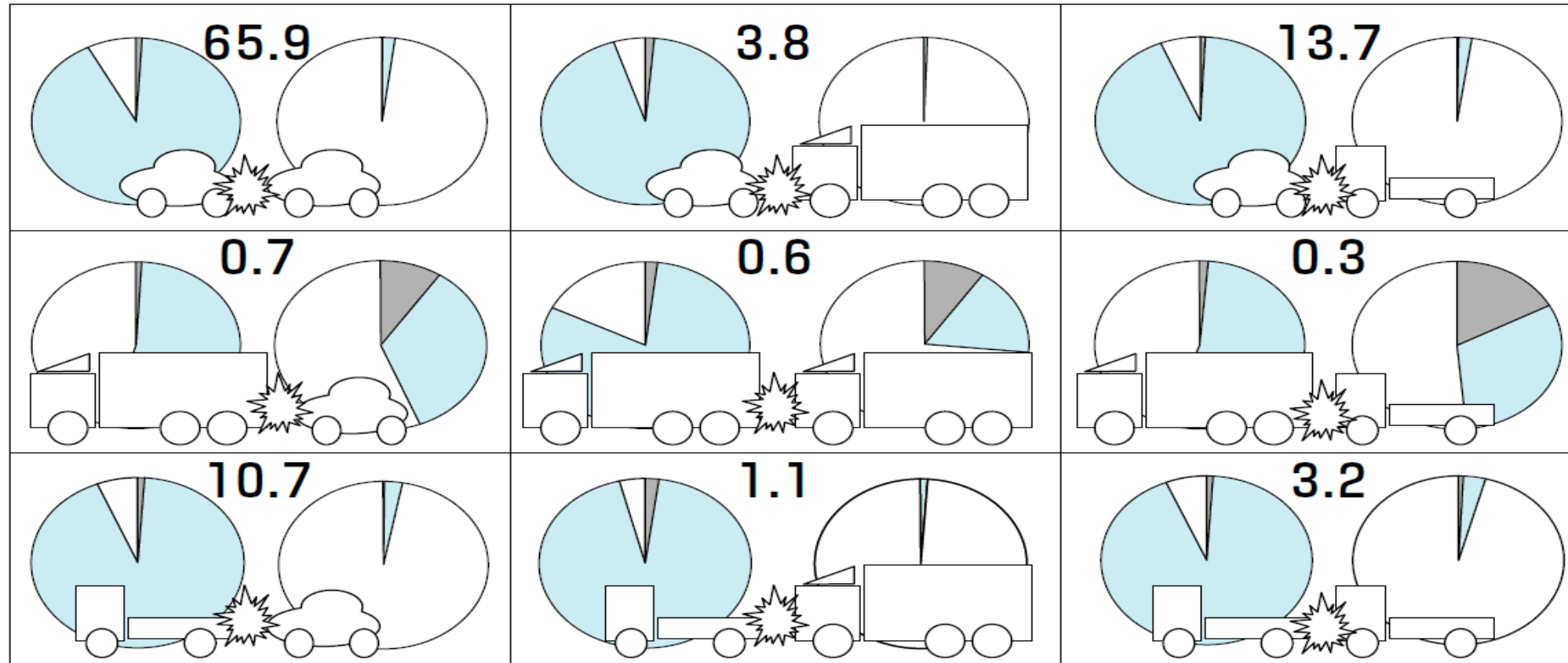
出会い頭事故・・・全体の21%

圧倒的に追突事故が多数を占めています

追突事故の特徴



車種の組み合わせ別の追突事故発生頻度



追突事故の発生頻度を追突側と被追突側の車種の組み合わせを数字で表しています

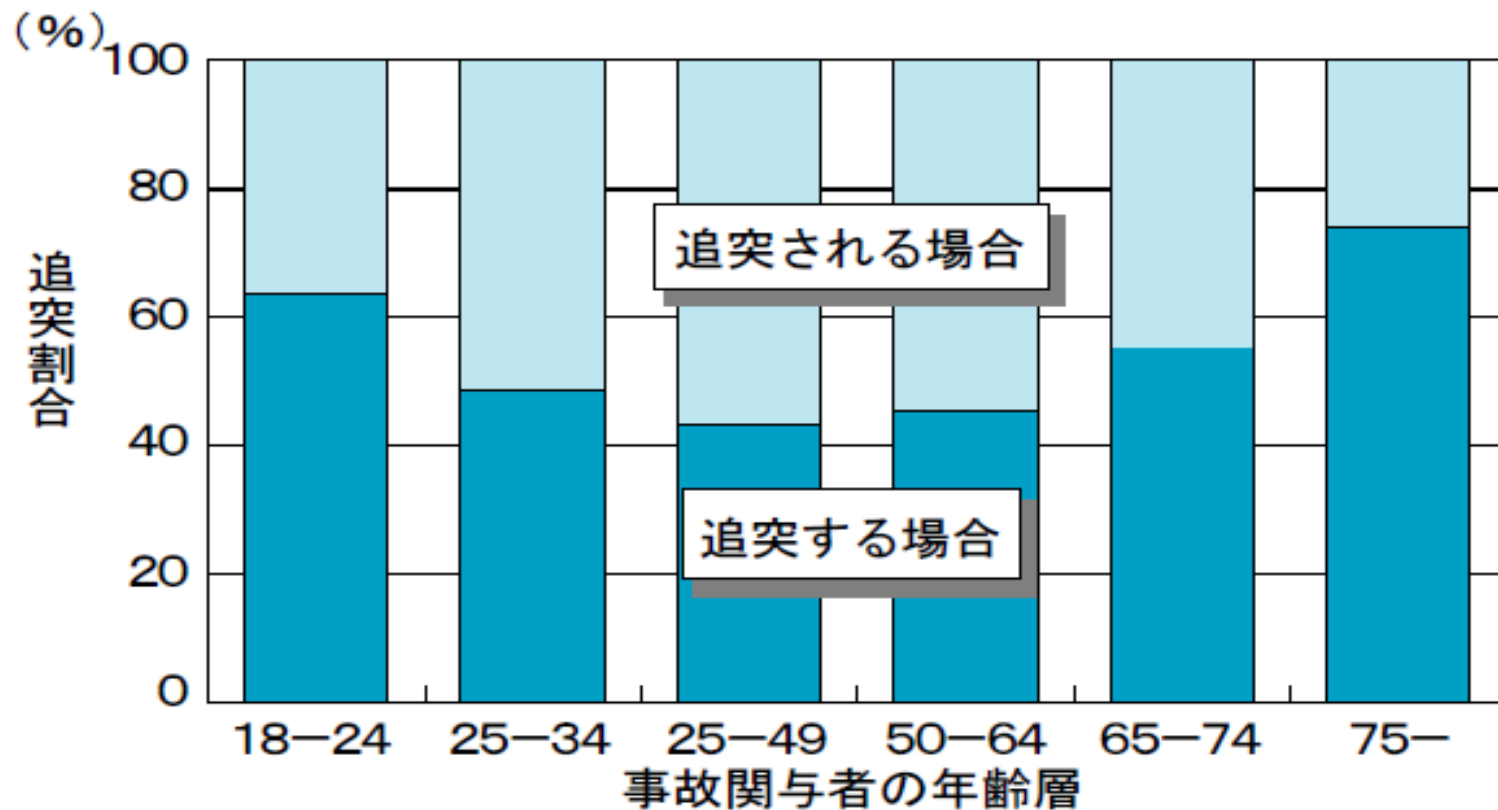
- 乗用車対乗用車の組み合わせ・・・約66%と最も多い
- 乗用車対小型トラックの組み合わせ・・・約24%と2番目に多い
- 大型トラックが関与する事故・・・約6% 車両保有台数が少ない

【被追突側／追突側運転者の人身損傷程度】

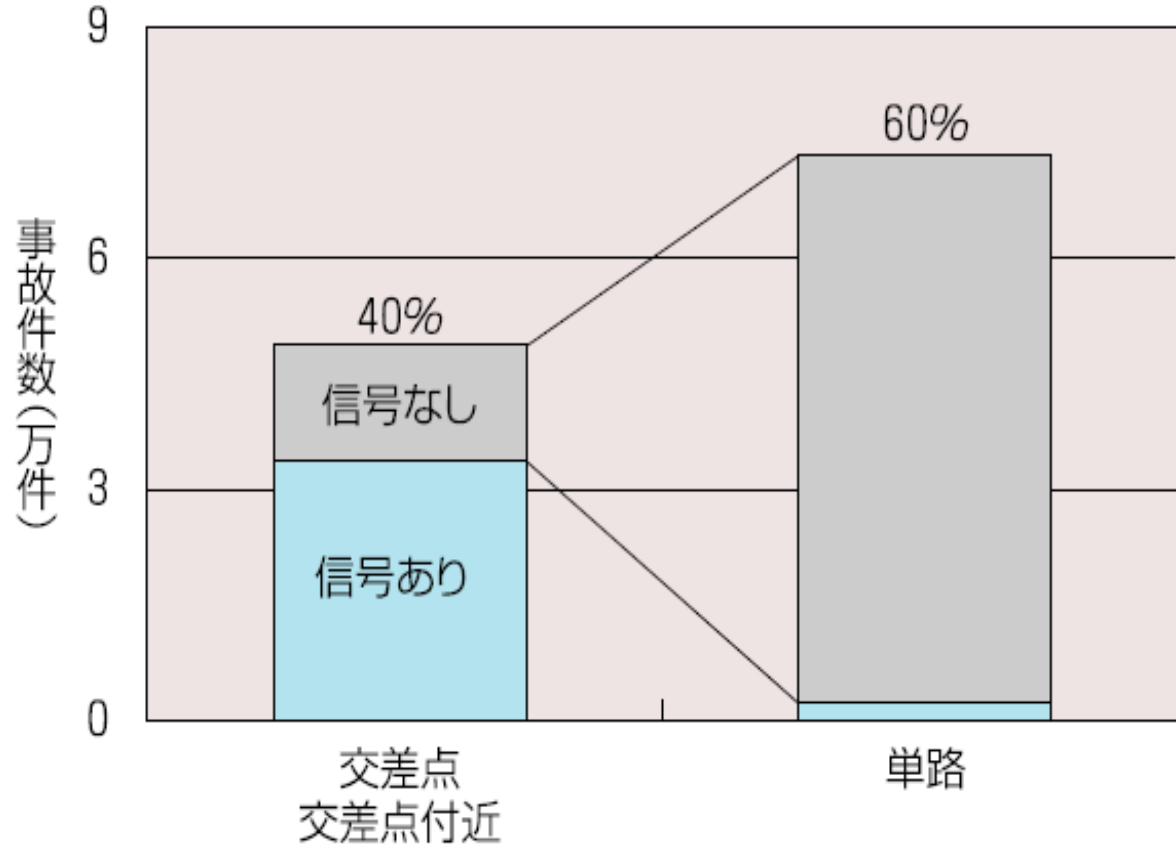
追突側は無傷、追突された側は軽傷がほとんど
大型トラックに追突された場合は、傷害程度が重くなる

高齢者、若年者が追突側になる場合が多い

年齢別の追突割合

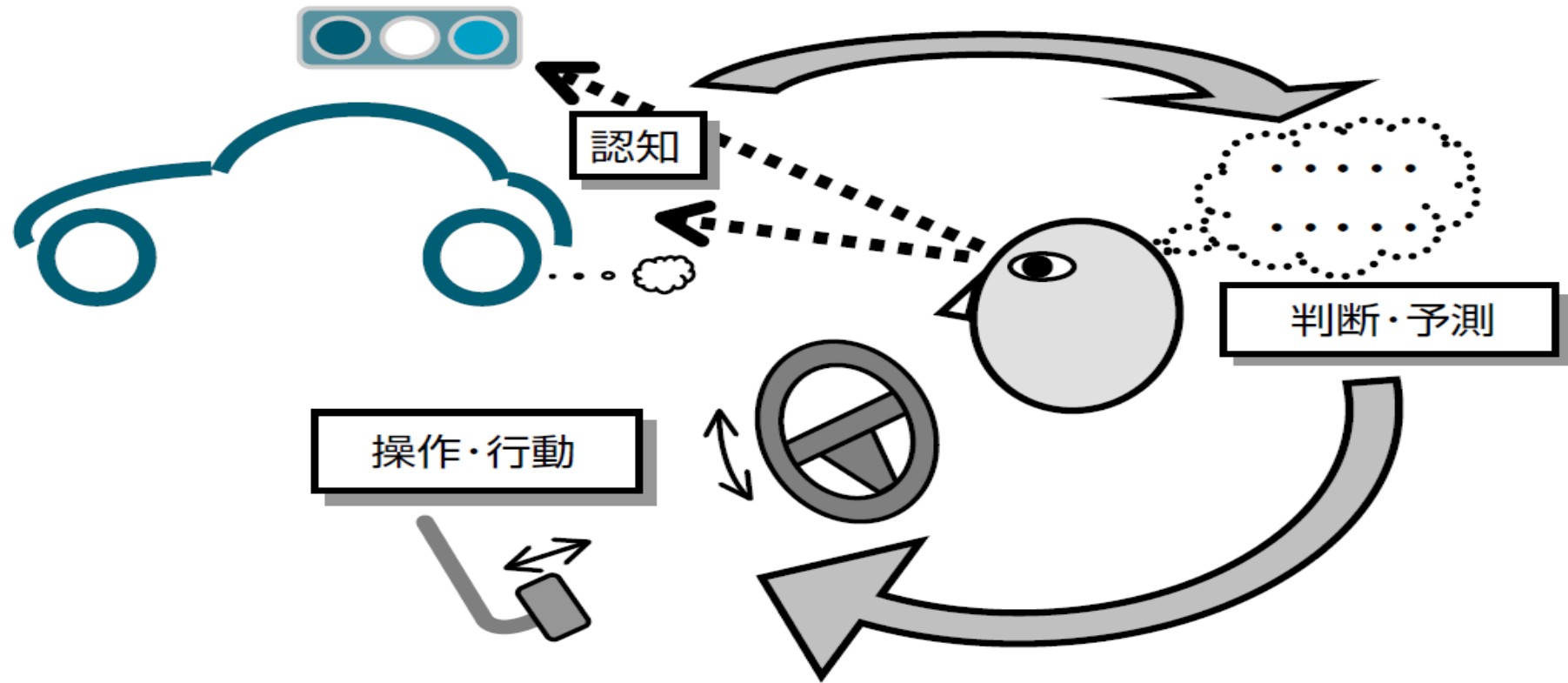


信号のない単路での追突事故が過半数



- ・全体の約60%の追突事故が単路で発生
- ・そのほとんどが信号のない場所で発生
- ・残る約40%は、交差点及び交差点付近で発生
- ・そのうち2/3が信号のある場所で発生

運転は、認知、予測、判断、操作の連続



- 認知とは、
安全に運転する上で把握しておくべき対象を、
単に見るだけでなく認識すること
- 判断・予測とは、
対象を認知した結果、
対象の動静や対象の陰にいるかも知れない別の対象を
予測したりすること
- 次にどのような操作行動を取ればよいのかを決定すること

追突事故はどうして起きるのか

適切に認知して判断して予測し、
操作行動をしていれば、
多くの事故は避けれたであろうと
考えられます。

安全運転の**原点**に戻れ！

字幕版S



事故を起こさないためのドライバーの心得

(1) **交差点では、青信号、直進など自分が優先側でも 速度を抑えて十分な安全確認を！**

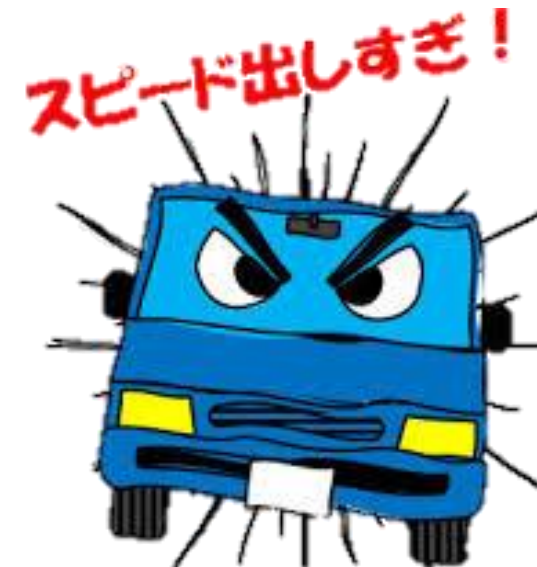
(2) **時間に余裕を持った運転を！**

時間に余裕のない**焦り運転は、スピードの出し過ぎや安全確認不足に繋がり、事故を起こしやすくなります。**



(3) **スピードを出し過ぎない！ ⇒ 道路の状況に合わせた速度で走行を！**
スピードの出し過ぎは

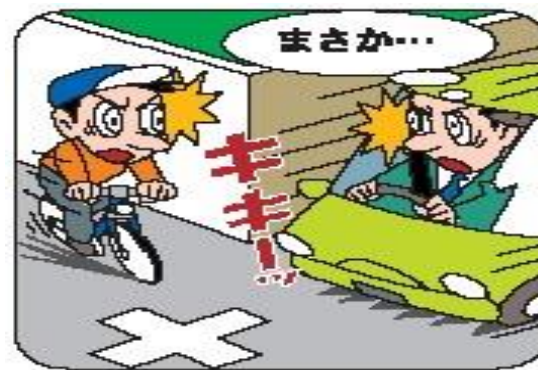
- ① **視野が狭まり、危険の発見が遅れる**
- ② **ブレーキでの制動距離、カーブを曲がる時の遠心力は、それぞれ速度の二乗に比例し、車の制御が困難となる**
- ③ **衝突時の衝撃力が速度の二乗に比例する**



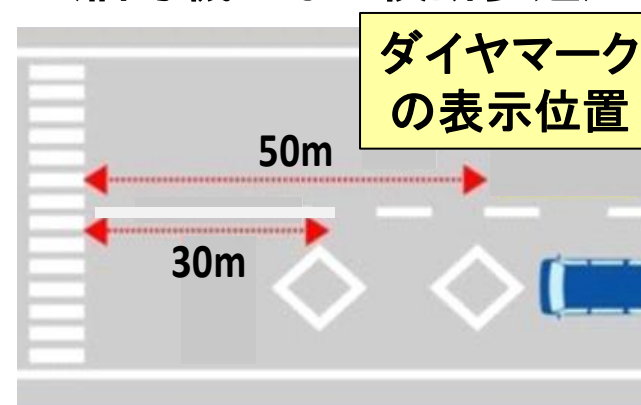
結果として、**重大事故に直結します**

(4) **かもしれない運転**で事故防止を！
「**だらう運転**」は事故のもと。

(5) 「**信号機のない横断歩道**」や「**横断歩道のない交差点付近**」では、**歩行者優先**です！



(信号機のない横断歩道)



(6) **脇見・考え事・スマホ使用等の「ながら運転」**
をせず、常に
運転に集中を！



(7) **危険を感じたら、**
まずはブレーキを！

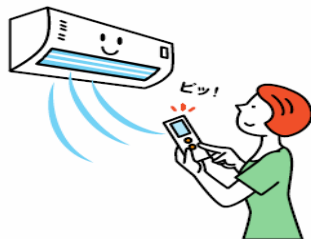


熱中症予防のために /



暑さを避ける!

❄️ 扇風機やエアコンで
温度をこまめに調節



❄️ 遮光カーテン、すだれ、
打ち水を利用



❄️ 外出時には日傘や
帽子を着用



❄️ 天気のよい日は日陰の
利用、こまめな休憩



❄️ 吸湿性・速乾性のある
通気性のよい衣服を着用



❄️ 保冷剤、氷、冷たいタオル
などで、からだを冷やす



⚠️ 『熱中症警戒アラート』発表時には、外出をなるべく控え、暑さを避けましょう

こまめに水分を補給する!

❄️ 室内でも、外出時でも、のどの渇きを感じていなくても
こまめに水分・塩分などを補給

